

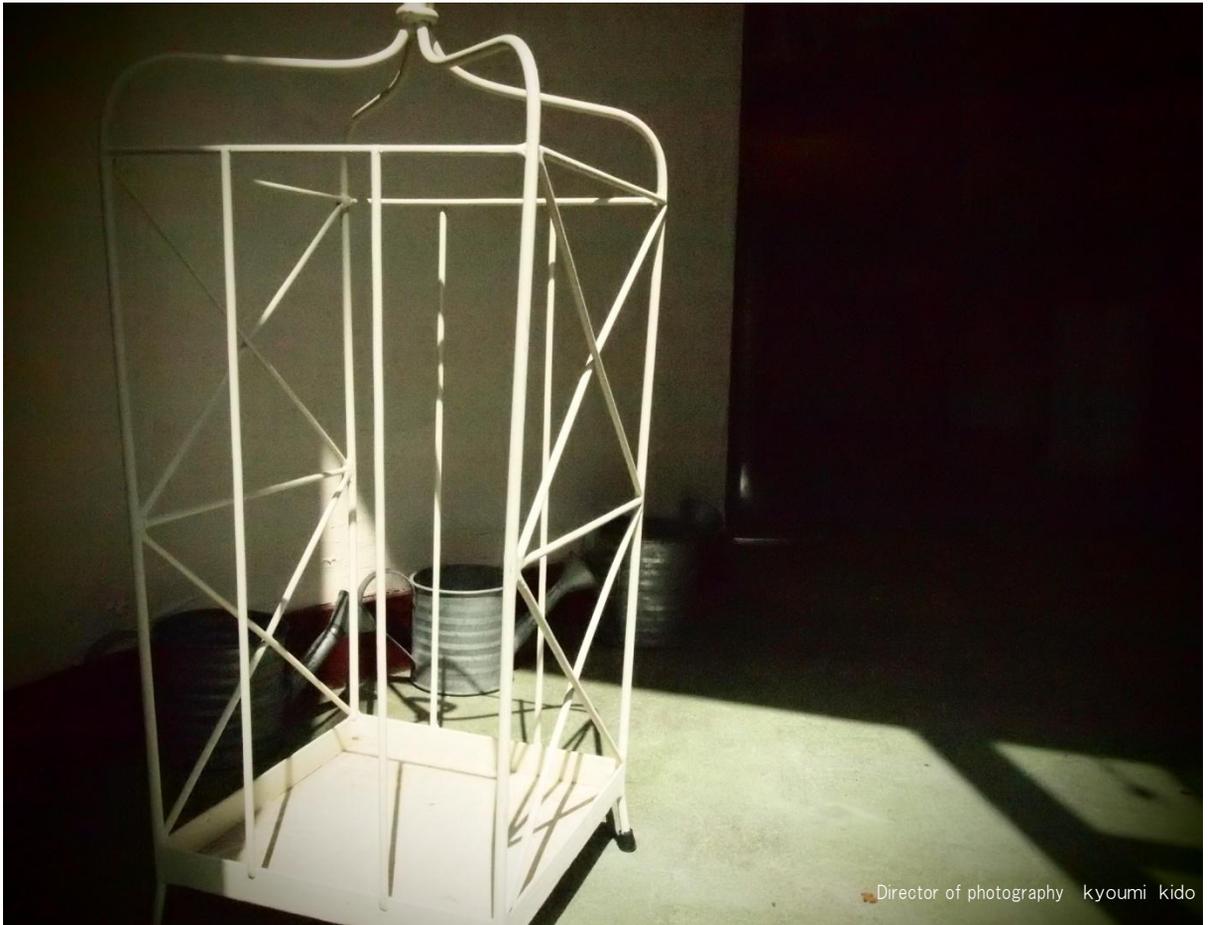
2013

Vol. 19

+

JAPANESE RED CROSS
HOUJUN NURSING HOME
FOR THE ELDERLY
JAPANESE RED CROSS
FUKUOKA CHAPTER

FRUIT FULL TREE



豊かな樹 ・ 豊寿園

人間を救うのは、人間だ。 Together for humanity

 日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

トピックス T O P I X



介護ミニセミナーが開催されました



小山久子先生の話真剣に聞かれる皆さん。



大きな声を出せば自然と気持ちが軽くなります。



唄に合わせてみなさん一体となって



豊寿園家族会会長の挨拶

お互いが笑顔になれる
ような介護を
・
・
・

3月15日に園内にて日本赤十字社、日赤豊寿園、豊寿園家族会共催で介護ミニセミナーが開催され、家族会会員をはじめ地域の方々、ボランティアの方々など70名が参加されました。

小山久子先生を講師に招き「介護を快互に変えてみませんか」について話していただきました。介護に携わると、辛い、きついという経験を誰もがされると思います。小山久子先生も認知症の母親の介護に携わり、辛い時期もありましたが、言い方や考え方を変えるだけで少しずつ気持ちが変わっていく、お互いストレスがかからない介護生活を送ることができたそうです。介護する側もされる側にとっても苦しくキツイ介護を続けるのではなく、お互いが笑顔になれるような介護を行い「happy」になりましょうという提案でした。体験を交えた話しは、皆さん共感され、熱心にメモを取られていました。スカルフを利用し、体を動かしながらの講演は、皆さんが一体となって参加することができた楽しい講演になり、最後は皆さん笑顔で帰られてました。


新しい浴室・トイレができました


2月より行っていました改装工事が完了しました。
 工事期間中は、ご迷惑をお掛けしましたが、皆様のご協
 力により浴室とトイレが完成しました。

シャワー完備トイレ【左】



トイレ内にシャワーを設け、すぐに洗
浄することができます。

シャワーチェア対応浴槽



個浴からは庭を眺めることができます

新しい職員が増えました。

職員の異動

- 【転出】**
 事務課長 横山慶一
 → 日本赤十字社 福岡県支部
 主 事 八田 咲希
 → 福岡県血液センター北九州事業所
- 【転入】**
 事務課長 長田 英之
 ← 嘉麻赤十字病院

新入職員

- 【主 事】** 藤田 梨絵
【介護職員】
 1階介護職員 山中 令子
 原田 ゆかり
 2階介護職員 初瀬 千絵
 岡崎 聖水
 田中 美月
 通所介護職員 松山 采華



なかなかキレイ
にできたでしょ



可愛い雛人形
と一緒に
すてきな笑顔



獅子舞の
音楽に合わせて
手拍子!!



おいしい
お抹茶を
たてま
しょうね



「こんにちは
じーも
です。」

「わあ～
大きくて
ビックリ!!」



春と一緒に笑顔も届きました。

あなたと向き合った日々

HOJUEN × Family

ご家族様の介護に取り組んだ経験をお話いただくこのコーナー。
今回、荒木敬一郎係長のインタビューに応じてくださったのは、
畑尾弘子様です。

最初は無我夢中で 介護をしていました

平成12年頃から幻覚、妄想、
屋内の徘徊、不眠等の症状が出
て、『雲仙に帰る』と本人がよく
訴えていました。

付きっきりの介護に困っている
時、主治医から豊寿園をすすめ
られたんです。母の脳血管性認
知症の症状は『まだら』で、日
よつて訴えや症状が変わり、対
応に苦慮しました。私は介護の
仕方なんてわからなくて、ただ
力任せにやっていたため、すぐ
腰を悪くしてしまいました。

一時は胃ろうも造りました

母が誤嚥性肺炎のため胃
ろうを造設した時には、自分で
チューブを触るために、手をく
くつて対応していたのですが、『子
供が親をくくるか！』という母の
訴えに心を痛めました。その後
は母の驚異的な回復もあつて、何
とか口から食事ができるように
なり、胃ろうを閉じました。また、
母が腰痛を訴えた時は、鎮痛剤
の服用をした後に吐血や胃潰瘍
の症状も出現し、通院や付きっ
きりの介護に大変でした。
豊寿園のデイサービス送迎時
は『何で行かないの？自分の
家なのに』という本人の言葉が
胸に刺さりました。車椅子に
乗ってしまうと『バイバイ』って



今回インタビューに答えていただいた畑尾弘子様(写真左)

言うんですけどね(笑)
介護技術の知識が不足してい
た私は、力任せの介護を続けた
ことから今度は膝を痛め、公的
介護サービスを利用しながら、
自分の治療を始めました。その
時私は、他の家族から協力を得
ることができませんでした。

『プロに任せてみなさい』

そんな中、母は家の中の段差に
つまずき尻もちをつき、左大腿
骨を骨折しました。私は『あの時
なんでもっと〇〇してやれなかつ
たのだから…』と後悔ばかりして
いました。

退院時に主治医は『連れて帰っ
てもダメ！あなた、連れて帰った
ら中途半端な介護はしないで
しょ！』と言われ、私はハッとし
ました。家を建てる時は自然が
多くて眺めも良くて、いい所

だなあと考えていましたが、介護
をする時のことなんて何も考え
ていませんでした。車椅子を使用
した介護は、屋内の段差や近隣
の坂等に困ります。とは言え母
の介護をどうしたものかと悩ん
でいた時に、豊寿園からいろいろ
な知らなかった制度をすすめら
れて本当に助かりました。
ずっと一緒に暮らしてきた母が
入所してからは、夜になると『母
が迷惑かけているんじゃないか
！』と心配になりました。そんな
時、主治医は『あの人たちはプロ
なんだから大丈夫』と元気づけて
くれました。

また、私は自身の日記を読み
返すことで『私ひとりじゃ母の介
護はダメなんだ』と認識するよう
になりました。母の介護に明け暮
れていた時は、他の家族から『自
分の顔を見てごらん！ばあちゃん
の為だけじゃなくて、介護してい
るあなたも心配なんだから！』
と言われたことが、印象に強く
残っています。あの時私は、母の
介護をひとり頑張りたくないとい
けないという一心で、知らず知
らずの間に鬼の形相をしていたの
です。

母が入所して他の家族と一緒に
面会に行った時に、『ばあちゃん
の笑顔は百万円出しても買わ
れんよ！家にいる時はみられな
かった。この笑顔をもっとみてい
きたい！』と家族から言われたこ
とに救われました。

今でも、面会や手紙をFAXす
ることで母の心に寄り添っていま
す。



平成25年4月豊寿園中庭にて撮影(ご本人様)

福祉一口メモ

障害者手帳を持っていない高齢者でも障害者控除を受けられるのをご存知ですか。

障害者控除を受けれるのは、障害者手帳を持っている方だけと思っていませんか？認知症の方でも審査で認められれば、障害者控除を受けられるのをご存知ですか。身体障害者手帳を持っていない65歳以上の人で、障害の程度が知的障害者または身体障害者に準ずるものとして、市町村長等の認定を受けている人、またはその人を扶養している人は、所得税および住民税の**障害者控除**または**特別障害者控除**を受けることができます。

【介護保険の要介護認定を受けている方】

介護保険の要介護認定を受けている方は、申請の窓口で障害者控除の申請書を提出すると、介護保険の要介護認定調査項目により**審査され認められれば**、障害の程度により**障害者**もしくは**特別障害者**として認定されます。

認知症高齢者	知的障害者(軽度・中等度に準ずる)	障害者
	知的障害者(重度に準ずる)	特別障害者
障害高齢者	寝たきり年長者	特別障害者

【介護保険の要介護認定を受けていない方】

申請の際に、指定医が発行する「身体障害者診断書・意見書(有料)」が必要です。ただし、「身体障害者診断書・意見書」を取っても診断結果によっては対象とならない場合もあります

身体障害者福祉法別表に掲げる3級～6級の障害に該当	障害者
身体障害者福祉法別表に掲げる1級～2級の障害に該当	特別障害者

問い合わせ・申請の窓口
各区役所保健福祉課高齢者・障害者相談係



介護一口メモ

誤嚥性肺炎について

『あなたと向き合った日々』にも出てきました、『誤嚥性肺炎』高齢者にとって肺炎はとても怖い病気です。特に嚥下(飲み込む力)が低下し唾液や食物が気管に入ってしまう、その食物や唾液に含まれる細菌が肺に入ってしまうことで起こる誤嚥性肺炎が多くなってきます。

今回は誤嚥性肺炎を防ぐ為に豊寿園でも行っていることを紹介します。

1 口腔内の清潔を保つ

口腔内は適度な湿度と温度が保たれている為、細菌はすぐに繁殖してしまいます。その為、口の中の細菌を繁殖させないこと、肺に細菌を入れないことが重要です。食事の前後に口腔ケアを行い、清潔を保ちましょう。

2 食事内容の配慮

嚥下機能が低下してくると、食事の内容にも配慮が必要になります。

- ・ものをかみ砕くことが難しくなった時は刻んだり、柔らかく煮たりすることで食べやすくなります。
- ・水分にむせる場合はお茶や汁物にとろみをつけます。とろみ剤は薬局で買う事ができます。

3 食事の時の姿勢

食事時の姿勢は前かがみの姿勢をとります。椅子に座る場合はかかとをしっかりと床に付けて、深く腰掛けるように座りましょう。

その他にも誤嚥予防体操や口腔マッサージなど利用者さんの状態に合わせて行っています。

皆さんも是非試していただき、誤嚥を予防してくださいね☆

お知らせ

● デイサービスの提供時間が変わりました。

4月1日より、サービス提供時間が7～9時間へ変更になりました。

サービス提供時間：9時30分～16時45分

● 入所申込み締切りが迫っています。

北九州市内の特別養護老人ホームの入所申込は4月末までとなっています。

それまでにお申込みいただいた方々は、平成25年6月1日からの半年間、希望施設に空きが出るのをお待ち頂くこととなります。特養への入所をご希望される方は急ぎ、希望施設にてお申込み手続きをお済ませください。

なお豊寿園にお申込みいただいた方の待機順位については、6月初めに文章にてご案内致します。また、待機の進捗はホームページで随時お知らせ致します。

豊寿園ホームページ<http://nissekihoujuen.jp/>

● 門司みなと祭り 祝賀パレードに参加します

5月26日(日)に開催される『門司みなと祭り 祝賀パレード』に、日本赤十字社として赤十字奉仕団、青少年赤十字と一緒に豊寿園職員も参加します。今年は門司港地区、大里地区パレードに参加予定しています。

○編集後記(editorial note)

今年は桜だけではなく、花の開花が早いようで家の近くのチューリップ畑もおまつりの終了を待たずに見ごろが終わりそうな勢いです。豊寿園も今年は桜と桃の花が同時に開花し、色とりどりのピンクの花が咲いてとてもきれいでした。花を楽しんだ後は、美味しい桃の実をつけてくれるのを楽しみにしています。

今回の広報紙で24年度広報委員の担当が終了し次号より25年度広報委員のメンバーで作成となります。広報委員のみなさん記事集めなどお疲れさまでした。

次号からも新メンバーと力を合わせ色々な記事をお伝えできるようにしていきたいと思っております。

城戸 匡美



地域ぶらり情報

季節の果物を使用した無添加ジャム

今回は、『かちゃ』さん(前号掲載店)よりご紹介いただきました『Andante』です。



3号線より関門トンネルに抜ける交差点の角に白い木製の扉の小さなお店があります。11年前に門司区本町にkitchen bar『twin-t』を開いていましたが、お店に出している食材をもっとみなさんにお届けしたく、昨年5月に『Andante』をオープンしました。

お子様からお年寄りまで安全に食べていただけるよう無添加の食材を使用しています。オススメは自家製ジャム、ケーキサレ、ピクルス…ets

自家製ジャムは季節の果物を利用していますので一週間おきに商品が変わります。今回は、山口産紅ほっぺのイチゴを1パック使用したい『ゴロゴロいちご』やジャージー牛乳を使用した『ミルクジャム』がありました。瓶の外から見てもイチゴがゴロゴロしているのがわかります。ケーキサレ(塩ケーキ)はチーズ風味の生地にクリームチーズやお野菜がたっぷり入っています。トースターなどで温めて食べるとピザの様な味になります。冷たいまま食べても美味しいです!季節のジャムを色々味わってみませんか



『Andante』

北九州市門司区東本町1丁目1-26
TEL 090-9495-7105
営業時間 10:30～17:00
定休日 月・火曜日



3月 新門司保育所交流

大切に思う気持ちが
あなたと私をつなぐ

きょう
クロス!
計画



2月 青葉小学校 認知症サポーター講習



2月 あきさと園 赤十字救急法講習



2月 八幡西区奉仕団視察研修
門司区奉仕団交流



2月 古城地区 赤十字救急法講習



日本赤十字社

We are volunteer

赤十字活動を支えるボランティアさんを紹介するコーナーです。

私のボランティアのきっかけは市立支援学校での光景でした。次の授業で男子生徒が教室の移動をするのに階段を這って上がっていく姿を見て手を貸してやれないかという思いでした。

小倉の福祉会館で養成講座を受講して、働きながら障害児からのボランティアを始めました。多くの失敗を重ねてそれを糧にして障害者と接して苦楽を共にしながらボランティアやホームヘルパー2級の資格を取得し、退職して介護施設等で入浴、食事、リハビリの介助し、入所者障害者施設の職員等と交流をして社会の知識、介護の重要性を知る事が出来ました。

私の脳裏にある2つのこと。或る時助けが必要で、ツッパリのある中学生のグループに助成を求め、彼等が手をかしてくれ、「自分たちを社会の肩のようにいついてくれるけれど今日は役に立てたんだ」中学生の言葉に涙が出るほど感動をしました。また、特養で私



門司AVEの会長 藤本 峰男
(映画等映像慰問)
平成22年3月より月1回映画機等を持参され、映画などを放映していただいています。懐かしい映像を観て利用者様は昔を思い出し喜んでいます。

が色々世話をした女性が、手を握った私を見てニコリ笑って旅立つて逝った顔を見て、死と向き合った時の悲しみは今でも心に残っています。私が門司AVEの会に入会して映画慰問先で子供から年長者の方々に会い、短い時間ですが話すことで私たち会員の励みであり支えになつておりボランティアをしていてよかつたという思いです。

現在の会員は男女合わせて18人ですが高齢化が進んでおり若い人が入会して後を続けてくれるように願っております。

ボランティアをするのには家族の理解と体力、健全な精神が必要で、永く続けることが大切と思う力のない私ですが、ボランティアの一粒の種が美しい花を咲かせて社会の弱い人たちとゆるぎない絆を築いて苦楽を共にしていくボランティアを続けたいと思います。

Houjuen Experience report

豊寿園体験レポート



豊寿園のご利用者様の日常を紹介するコーナーです。今回は介護職員の高賀さんが利用者様の疑似体験してきました。



今回はご利用者様の立場になり特養棟でのひな祭り喫茶の行事に参加してきました。

部屋の中には雛人形や桃の花が飾ってあり、桃の節句の季節を感じながらゆつくり過ごせる空間にされています。ケーキや雛人形まんじゅうなど様々な種類のデザートが準備されており、どれにしようかと迷いながらも一つ選びました。迷うのも楽しみの一つです。私は雛人形様がたてたお抹茶と一緒においしく頂きました。

饅頭は餅のように見えていたので、しっかりと噛まないと食べにくいかと感じていましたが、実際に食べてみると、やわらかく口の中で溶けるので、とても食べやすいものでした。厨房職員に聞いてみると羊羹と白餡で出来ているのでご利用者様も食べやすくなっているそうです。

今回は門司のゆるキャラ『じーも』も来園し、手をつないだり、一緒に写真を撮ったり、ふれあうこともでき『じーも』と特別な時間も過ごす事が出来ました。

今回体験して、ご利用者様の日々の生活で、季節を感じて頂けることが少ないため、このような行事を行うことで四季を感じて頂くことは大切だと感じましてご利用者様、職員、豊寿園で過ごされる皆の笑顔が絶えない場所を今後も大事にしていきたいと思えます。



세계와 더욱 크로스 계획

X KOREA

今回はオープンからの様子や、この約半年の出来ごと、園内の様子などをさっそくキム・ドヨン先生よりレポートしていただきました。利用者さんや利用者さんのご家族との信頼関係の形成はとても大変で、大切なことなんですよね……。

この半年 忙しい日々でした

今は南山の上の松に冬の間咲いていた雪の花がいつの間にか小さい名前も分からない新芽が芽吹きはじめています。時間が過ぎ去るのもわからないくらいとても忙しい日々でした。

10月4日から利用者が入所され10月17日、大韓赤十字社総裁が出席される中で開園式を終えました。現在58名が入所され地下1階、地上3階、各階6名ずつ交代でお世話をし園長、局長などその他17名ほどの職員がこのセンターに勤務しています。なんの備品もない新設の建物にベットから間食のお皿まで整えなければならぬ、終わりの見えないことをすべて職員が



開園前からボランティアで働き待機者の方が長く待たずに短期間で入所することができました。ここはどうしたら入れるの？「すみませんが、トイレを貸してもらえますか？」山のおもとに位置するお陰で、色とりどりの登山服で散歩道を上がり、ぱっと目につくこのセンターを訪問する方々にもしよつちゆうお会いすることもできました。冬の雪景色も驚異でしたが、春の日の桜も美しいという言葉を聞き、楽しみにしています。

開園し5か月、今は休みの日に家にもても、前日に消化不良をおこされたお年寄りが大丈夫だろうか・寝ている時にされていた咳は出ていないだろうか・な少し心に余裕ができました。お風呂の介助サービス案内サービス、また週末を利用した学生たちのサービスまで各界各層の関心があるの可能性があります。

大韓赤十字社総裁出席のもと、開園式を行いました。

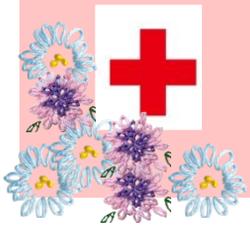
特にこの園の法人として、物資と精神の両方を支援する赤十字社ではソウル支部地区代別に毎日交代でお年寄りの話し相手をしに来てくれてます。1か月に1回の誕生日会の時は、誕生日を迎えられるお年寄りにケーキとプレゼントを準備してお祝いに来てくれます。

顔なじみでない方からのお祝いですが、首だけこくりとうなずかれる利用者が何度も何度もプレゼントをなさすり、私物箱にずっと入れておく方もいらつしやいます。

それだけでなく、音楽治療、美術治療、映画鑑賞、などいろいろなプログラムも進行しながらお年寄りの余暇時間を退屈にならないよう満たそうと努力をしています。

また、月2回、赤十字社病院の内科医の嘱託治療もお年寄りの健康を維持しています。

このようにいろいろな分野の支援を行っています。利用者の方々の全面的な支持と信頼なくしては不可能なことです。



HOUJYUEN



カルゲクス

去る2月に、ご家族を集め、利用者に対してどのような事を願っていただけるのか尋ね、私たちのセンター自体から制限する食事など、あらゆる心配事を解消できる懇話会も行いました。入所初期には不信と憂慮があり家族の方々の信頼を得るまではしばらくの間も必要でした。

利用者のご家族である息子さんは来られる度、利用者が好物のカルゲクス、ホ、パン、ジャジャンメンなどのいろいろな食べ物を買ってこられ利用者にご食べさせました。

利用者の弱い胃腸を配慮し、引き止めもしてみました。利用者が、「胃が悪く一食も食べていない」という訴えに、息子さんは坂道を嫌がりもせずいろいろ買って来られ、差し入れをしていました。すると便秘に下痢に2か月程体調不良が続く、病院も何回か通いましたがすぐによくはなりません。息子さんはこのセンターから退所をしなければならぬか、苦悩した日もあったとおっしゃいました。



(栄養士をはじめ、さまざまな職員の持続的な話し合いと利用者に対する哀情に始まる食事制限も理解してくださり、次第に体調もよくなり、息子さんが買ってこられる食べ物もバナナ、みかんなど果物に代わり、量も間食として召しあがられるほどの量に減りました。

いまや活動プログラムの参加も積極的で、ほとんど支えられなかった体も自ら支えようと努力しておられます。どんなあらゆる美辞麗句より利用者たちの表情でお見せするのが一番よい言葉でしょう。

勤務時間、給料、様々な厳しい環境でも、私に寄りかかり私が疲れているように見えたら言葉なくた手をぎゅつと握ってくれる利用者がいて、今日もいろいろなことを心配しながらもよいこともあるかと期待しながら動いています。

レクリエーションや体操も頑張っています



イ特派員ありがとうございます！
そしてキムさん宜しく！
お願いします。

この一年豊寿園広報誌特派員として韓国のこと、大韓赤十字初の高齢者施設のことをレポートして下さったイ・ヒョンスクさんが、ボランティアセンター長で異動になられたため、これからは施設の物理治療師のキム・ドヨン先生が豊寿園広報誌特派員になってくださることとなりました。イさん、お忙しい中たくさんの情報をお伝えしてくださいましてありがとうございました！

고맷습니다！

2013

Vol. 19

+

JAPANESE RED CROSS
HOJUJEN NURSING HOME
FOR THE ELDERLY
JAPANESE RED CROSS
FUKUOKA CHAPTER

豊かな樹

F R U I T F U L L T R E E

豊寿園



人間を救うのは、人間だ。Together for humanity

